

1 全ての新入生の啓きたる全日本自治会同盟より、教養部の自治会運動の現状を述べ、

## PART 1

Ⅰ 教養部自治会執行部のなごり問題について

な。

現在、教養部には残念ながら自治会執行部が存在しない。注、「教養部自治会執行委員会」を名のり、宣伝を行なっている者がいるが、これは後述するやうに日本共産党の「民青同盟」の施設団体である。その理由・経緯を詳しく説明しよう。

72年、全国的に目的止まりの暴動上げ阻止斗争の最盛期になって、京大の学生もまた大衆的・戦時的阻止斗争を展開していった。この時すでに裏切者・大学再編への勢力者としての立場を露明にしていた。

注、「共」一民青は、72年7月、全京都購買の共産部隊を京大に集結させ、糾弾行動を行おうとした。学生をその力に任せて排除しようとした。結果として、以後彼等委員会提出した「宣言」した。以後彼等は年々1-2回校外へ出てきたり機動隊に押されたりのが、自治会委員会をもち、と称し、執行委員会の名を借りて統一して、この「宣言」の通り「この面々執行委員会」の名で活動する連中が、この時である。我々は「宣言」を上げるといふ。それはなぜか。

① 自治会組織を維持する。  
C 自治会は現在存在し、注、「共」一民青は連約がないかといふと、勝手に「行動要領」なるものを進めているが、これは61年全教養部学生大会の経緯によって確立されたものである。その中には自治会組織の構成要素として「代議員大会」(自治会

# 主体的クラブ活動を発展させる中 教養部自治会を再建しよう

この面々、世襲の選挙に對し、全学で活発な討論が組織され、志望の満ち溢れを起した。その結果として、同月11日の日卸後には教養部代議員大会に於て、注、「共」一民青は年々出ていた。C再編行動の経緯が注、「共」一民青は年々出ていた。C再編

注、「共」一民青は年々出ていた。C再編行動の経緯が注、「共」一民青は年々出ていた。C再編

